

除草剤耐性ダイズと害虫抵抗性及び除草剤耐性トウモロコシの展示栽培

(展示栽培期間:平成23年度)

	確認項目	確認結果
交雑防止措置について	○交雑防止措置について	ダイズは隔離距離による交雑防止措置を行っており、研究所内の同種栽培作物までの距離が10m以上であることを確認しました(研究所外の最も近い農家の畑との距離は550m)。トウモロコシは隔離距離によらない交雑防止措置(除雄)を行っていることを確認しました。
	○選定場所における風の影響について	ダイズの栽培区画の開花期の推定平均風速の算出値が毎秒3mを下回る事を確認しました。台風への対応として7月19～7月22日及び9月1日～9月6日の間防風ネットを設置したことを確認しました。トウモロコシの展示栽培では、除雄を行っているため本措置は必要ありません。
	○開花前の低温により交雑の可能性が想定される場合の措置について	ダイズについては、交雑の可能性が想定されるような低温にはならず、交雑防止措置は行わなかったことを確認しました。トウモロコシの展示栽培では、除雄を行っているため本措置は必要ありません。
	○モニタリング措置について	展示栽培したダイズについては、食品安全性承認作物及び飼料安全性承認作物であるためモニタリング措置は必要ありません。トウモロコシについては、隔離距離によらない交雑防止措置である除雄を行っているため、モニタリング措置は必要ありません。
混入・拡散防止措置について	○実験の種子、種苗の分別管理、野鳥等の食害による拡散防止について	ダイズ及びトウモロコシともに種子を密閉容器に入れ、他の種子と区分して保管・管理していることを確認しました。また、野鳥等の食害による拡散防止として播種後一定期間防鳥ネットを設置し、かつ登熟期から栽培終了まで防鳥糸を設置したことを確認しました。
	○栽培実験に用いた機械施設等の洗浄等について	展示栽培区画にて使用した機械等を展示栽培区画外に搬出する際は払い落とし及び洗浄を行ったことを確認しました。
	○第1種使用規程承認作物の収穫物の管理等について	密閉容器に入れ、ほ場管理室内の鍵付き冷蔵庫にて保管・管理していることを確認しました。
	○栽培実験終了後の第1種使用規程承認作物等の処理等について	トウモロコシは9月6日に裁断し、ほ場に鋤込み不活化処理を行い、ダイズは完熟前の9月13日に裁断し、ほ場に鋤込み不活化処理を行ったことを確認しました。
	○第1種使用規程承認作物を栽培した区画での後作の収穫物の取り扱いについて	展示栽培を行ったほ場の後作としてライ小麦を栽培したことを確認しました。これらの後作は、3月12日にほ場内に鋤き込んで不活化したことを確認しました。
栽培実験に係る情報提供について	○計画書の公表について	計画書が4月21日に公表された事を確認しました。5月20日に計画書を一部変更し、その旨を公表したことを確認しました。
	○説明会の開催等について	説明会が5月12日に開催された事を確認しました。また、本展示栽培についての電話及びメールによる問い合わせについて1件、見学については26件(398名)の受け入れを行った事を確認しました。
	○栽培実験の経過に関する情報提供について	説明会の開催等、本展示栽培の経過について24件の情報がホームページに掲載されている事を確認しました。
	○栽培実験を終了した後の情報提供について	本展示栽培での栽培及び処理の終了について、1月5日にホームページに掲載されたことを確認しました。
栽培実験に係る管理体制の整備について	○栽培実験に係る管理体制の整備について	栽培実験責任者、作業管理主任者、情報提供主任者を指名して管理体制を整備していることを確認しました。

農業生物資源研究所 展示ほ場



展示ほ場全景  
(7月9日撮影)



組換えダイズ  
慣行除草区  
(7月9日撮影)



組換えトウモロコシ  
(7月9日撮影)